



まちづくり活動とは、広く市民に開かれ、地域課題解決に向けた取り組みを行っている公益的な活動をいいます。まちづくり活動によって、地域が元気になり、活動者自身もその効果を実感できる取り組みを想定しています。

■まちづくり活動助成金 詳細(市ウェブサイト)

<https://www.city.kakamigahara.lg.jp/life/shiminsanka/1001857/1001859/1001860.html>



事業名 三世代交流ワークショップ事業

団体名 リョクエンナーレ実行委員会

【事業概要】

子供からお年寄りまでの各世代が気軽に参加できるワークショップを子供たちの夏休み期間に開催し、その後作品展示を「ふらっと」及び緑苑小学校で開催する。



【事業費総額(予算)】155,290 円

【助成金交付決定額】 50,000 円

【主な経費内容】

- チラシ、コピー代、事務用品
- ワークショップ材料
- ボランティア保険
- チラシデザイン委託料
- カッティングボードなど備品



7月30日(金)から8月5日(木)10:00-20:00、緑苑中央集会場「ふらっと」において、「三世代交流ワークショップ事業」で作られた光る風鈴の展示が行われました。

ワークショップでは、7月12・14日に緑苑小学校の3年生・6年生、7月14日・22日に緑苑地区社会福祉協議会・緑苑小学校区青少年市民会議・緑苑小学校区体育振興会・緑苑みどり会の皆さんが、リョクエンナーレ実行委員会と共に、光る風鈴を制作しました。

完成した150個の光る風鈴は、当初、緑苑配水池で展示する予定でしたが、強風や悪天候に備え、急速「ふらっと」の室内に展示。「ふらっと」を運営する緑苑地区社協には、夜間開場にもご協力いただきました。小学生やその保護者の中には初めて「ふらっと」を訪れる方も多く、風鈴の展示と共に壁面展示や地域住民の方との会話なども楽しめました。



事業名 男女共同参画に根付いた住みやすい町づくり事業

団体名 Tri-Angle

【事業概要】

男女共同参画の視点から、身近な社会問題を考え、セミナーや勉強会を通じて市民および企業に向けて発信することにより、生きやすい社会を構築する。



【事業費総額(予算)】105,350 円

【助成金交付決定額】 67,000 円

【主な経費内容】

- 講師謝礼、駐車場代、A4用紙、プリンターインク、開催案内印刷費、封筒、切手代、ラベルシール、養生テープ、消毒液、傷害保険代、会場使用料、USBメモリ、体温計

7月31日(土)19:00~20:30、那加福祉センター集会室において、Tri-Angleのメンバー8人が、8月29日(日)に開催する講演会の会場下見を兼ねた打合わせを行いました。

前半は集客状況について確認。声掛けをした際の反応などを報告し合い、見込み人数を把握。岐阜県中日会の「Chunichi Gifoo!」へチラシが掲載されていることや、8月14日に折込が入ることなどを共有しました。一方で、コロナウィルス感染症の再拡大が懸念されていることから、申し込みの躊躇やキャンセルもあり得るとして、録画や配信などを活用し、後日少人数での上映を行うなどのフォローができればと話し合われました。後半は、当日の流れ、配置についても確認。メンバーが各々感じたことを発言しながら場を改善していく様子には、メンバー間の関係性や役割分担が反映されているようでした。

※その後、コロナウィルス感染症の再拡大により会場が閉鎖となった為、8月29日の講演会は中止とし、事務所で講師の講演内容を録画し、限定配信や後日上映する方法に変更となりました。

この取材レポートでは、各務原市まちづくり活動助成金 令和3年度交付事業の活動の様子をご紹介します。

令和3年度交付事業…<スタート助成>1年目:3事業 2年目:3事業 <まちづくり助成>1年目:2事業 計8事業にご活用いただいています。

以上の内容は、取材や団体からのヒアリングをもとに作成しました。

事業名 貞奴をキーワードにしたきっかけづくり事業

団体名 貞奴フォーラム実行委員会

【事業概要】

各務原市には、日本の女優第1号「川上貞奴」が建立した貞照寺として国の重要文化財に指定されている「萬松園」があり、2021年7月には貞奴生誕150年を迎えます。この節目の年に合わせ、多様な世代が活動を始めるきっかけとなるよう、市内外の皆様に貞奴に対する関心を喚起する、成澤布美子「十二人の貞奴」朗読会を実施します。

【事業費総額(予算)】215,200円

【助成金交付決定額】136,000円

【主な経費内容】

講師謝礼、会場費、施設備品使用料、撮影・DVD制作委託費、チラシ作成費、整理券作成費、プリンターインク、事務消耗品



8月11日(水)14:00~15:30、中央図書館4階多目的ホールにて、成澤布美子ひとり語り「十二人の貞奴」が開催され、7月18日(日)に貞照寺で配布された観覧整理券を手にした74人が来場しました。

当日は、貞照寺のガイドを担う萬松園ガイドが協力し、受付や会場誘導を行っていました。また、動画撮影や編集を得意とする杉山正幸さんも、公演の様子を録画するスタッフとして協力しました。

本番前には、藤本会長の挨拶後、杉山さんが制作したVTRを上映。朗読劇をより楽しんでもらうために、貞奴の軌跡を紹介しました。朗読劇は、貞奴を育てた芸者小屋の女将から現在の萬松園オーナーまで、貞奴の関係者たちが時代や国境を越えて観覧者に証言する、という流れで進みました。脚本と主演を務めた成澤さんは、ピアノの演奏や照明の暗転のタイミングをうまく使い、性別や年齢の異なる12人を切り替えて演じていました。また、本市での開催にあわせた脚本で、市民の関心と呼んでいました。

事務局の西田さんは「コロナ禍だが無事に開催できてよかった。学校や団体にも、DVDを貸し出して貞奴に触れる機会を提供したい」と振り返りました。また、藤本会長も「本公演のチラシは中学生以上が対象になってしまったと思う。小学生にも興味を持ってもらえるよう、絵本を制作することも考えたい」と話していました。

事業名 夏祭りプロジェクト事業

団体名 雄飛地区まちづくり委員会

【事業概要】

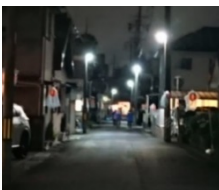
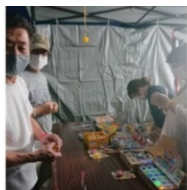
雄飛地区内にある川崎山薬師寺で毎年8月の盆踊りに合わせ、境内の一部でバザーを出店し、雄飛地区内外から老若男女多数参加してもらい、地域活性化の相乗効果を図る

【事業費総額(予算)】718,709円

【助成金交付決定額】300,000円

【主な経費内容】

投光器、タープ Tent、ポータブルガス発電機、装飾用提灯・LEDライト、チラシ印刷代、参加者用光るプレスレット、事務消耗品など



8月21日(土)18:00~20:00、雄飛地区の夏祭りが開催されました。雄飛地区まちづくり委員会メンバーと川崎山薬師寺関係者の20人が「ペーパーバック行燈」や「提灯」などの展示を行い、会場を訪れた地域住民は静かに展示を観覧しました。開催直前まで、「いも鉄砲」や「輪投げ」など、子どもたちが楽しめる企画を準備されていましたが、8月中旬からのコロナ感染症の急拡大を受け内容を検討され、展示を眺める夏祭りに変更されました。

ペーパーバック行燈は、雄飛地区に住む小学校6年生児童が制作。情報がなく児童とのやりとりに困難もありましたが、那加第二小学校の協力があって、実現に至りました。会場になった川崎山薬師寺までの参道には、住民の協力を得て、各家の軒先などに協賛企業の名前が入った提灯を吊り下げました。

来場者からは、「静かな夏祭りも幻想的な雰囲気良いね」、「やっぱり、早く皆で盆踊りができるようにいいね」という声が聞かれました。団体事務局の河尻さんは、「開催には団体内や連合自治会内でも賛否両論があった。中止することもできたが、開催しないことが普通になってイベントが開催できる体制でなくなっていくことに懸念があり、展示だけでも実施した。小学生の子どもが小学生でいられる時間は限られているので、少しでも地域の楽しい思い出を提供できれば。」と話されました。

各務原市まちづくり活動助成金 令和4年度事業 受付期間:10/4(月)~12/27(月)

地域の方々を巻き込み、地域課題の解決を図りながら自分たちの手で、暮らしやすい各務原を実現していく自主的・公益的な活動を支援します。

各務原市役所 市長公室 まちづくり推進課

☎ 058-383-1997 ✉ machidukuri@city.kakamigahara.gifu.jp

助成金説明会

10月2日(土)10:00~

産業文化センター2階第3会議室
またはウェブ配信(要申込)

